

研修医プログラムを修了して

研修医プログラムAを経験して

予防歯科学分野 市川 優

予防歯科学分野大学院1年の市川優と申します。昨年度はAコースにて臨床研修をしておりました。今回、「研修医プログラムを経験して」というテーマで執筆する機会をいただきましたので、1年間の臨床研修について振り返り、ご紹介いたします。

Aコースは歯科総合診療部で行う研修で、患者さんの主治医として治療計画の立案から実際の治療、その後の定期管理を行うという内容です。一般的な歯科治療はもちろん、やる気次第で応用的な処置についても何でも経験することが出来ます。私は学生の時から予防歯科学分野の大学院に進学するつもりでいました。他の専門診療科と比較して臨床からは離れがちな分野ですが、臨床の広い知識や経験は必要になるという思いで研修先はAコースを選択しました。

研修中は治療計画立案の相談や診療前のプレチェック、診療中のアドバイス、診療後のフィードバックなど、指導医の先生方からご指導いただける機会が多くあり、医局や大学院、レジデントの先生方にも多く相談に乗っていただきました。その度に新しい知識や、技術、考え方に触れることができ、当初の狙い以上に臨床についての技能を修得できていたと思います。日々、自身の成長を実感する一方で、学ぶことには終わりが見えず、自分の未熟さについても常に身に染みて感じていました。

Aコースには研修医の同期が多くいて、昨年度は21人で研修を行っていました。研修医控室では、研修医同士ではなかなか答えの出ない臨床的

な話し合いをしたり、歯科とは一切関係ない話題で大盛り上がりしたりしてとても楽しい時間を過ごしていました。

大変充実し、知的好奇心をくすぐられ、研鑽に励む毎日でしたが、それでもたった1年間の研修期間では総診で会得できることの幾分も自分のものに出来ていないと思います。それほど総診は得られるものが広く深く、望めば望むだけステップアップできる素晴らしい環境でした。

総診で学んだ臨床スキルは早速この4月から大学病院や出張先の診療で大いに役立っています。総診の先生方や同期の研修医から受けた数多くの刺激は今後の研究や臨床に生きることと思います。昨年度の全ての経験を糧に自分の進んだ道で精進を重ねていく所存です。

実りある研修生活を送ることが出来たのは研修医の指導に多大な時間を割いてくださった先生方と研修の環境を整えて下さった方々のおかげだと思っております。最後になりますが、素晴らしい臨床研修を提供して下さいましたすべての方々に心より感謝申し上げます。



筆者前列真ん中

研修医プログラムを経験して

歯科麻酔学分野 今井有蔵

初めまして、歯科麻酔科大学院1年の今井有蔵です。私は、2017年3月に本学を卒業後、4月より1年間新潟大学医歯学総合病院で研修をさせていただきました。ここでは、私が新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修プログラムB（以下Bコース）での研修経験を通して、学んだことを書かせていただきたいと思います。

まずBコースとは、半年が協力型診療研修施設で、残り半年が新潟大学医歯学総合病院専門診療科で研修を行うコースです。私は、新潟大学だけではなく、外部病院でも研修をしたいと考え、Bコースを選択しました。私の場合は、4-9月は富山県立中央病院で、10-3月は新潟大学歯科麻酔科で研修を行いました。

前半の富山県立中央病院では歯科口腔外科での研修でした。もともと外科処置に恐怖感を感じていた私は、病院歯科での研修を通して、外科処置に少しでも自信を持てればと考え、富山県立中央病院で研修を行わせていただきました。そこでは、外科処置や病棟管理が大半の仕事でしたが、入院患者の一般治療なども経験することができました。また、経験した症例のケースレポート執筆投稿や、周囲の開業歯科医との症例検討会などにも参加し、多くを学ばせていただきました。その中でも特に記憶に残っているのが、転落による外傷で救急搬送されてきた患者さんの外科処置です。歯科医師になりたての私にとっては、とてもショッキングな現場ではありましたが、4月に経

験したことで、外科処置に対する恐怖感をなくすことができた貴重な経験だったと思います。今後の歯科医師人生でも、この経験を忘れずにしっかり活かしていきたいと思います。

後半は歯科麻酔科での研修でした。学部学生のところから、ずっと歯科麻酔に興味があったので、後半は歯科麻酔科で研修を行わせていただきました。学生のときは見学がメインでしたが、研修では実際に麻酔導入・維持・覚醒などを経験させていただくことができました。ライン確保や挿管操作、全身的疾患や薬剤など、慣れないことばかりでしたが、多くを学ばせていただきました。しかし、まだまだ勉強不足なことばかりだと思います。今年から歯科麻酔科に入局し、臨床や研究を通してしっかりと勉強してきたいと思います。

最後に、ご指導して下さった先生方や、歯科衛生士、看護師の方々、同期の研修医に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして今後ともよろしく願いいたします。



写真（下段中央）